仕様書

1. 件名　　マイクロ波灰化装置の購入

2. 数量　　一式

3. 目的

東電福島原発事故により放出された放射性物質の環境動態及び環境影響を調査するために、環境試料中の放射性核種の定量を行う。そのためには大量の環境試料を乾燥灰化する必要がある。そこで短時間に試料の処理が可能で、また排煙量が少ないマイクロ波装置システムを導入する。

4. 納入場所

千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1
独立行政法人放射線医学総合研究所
環境動態棟（仮称）2 階　環境試料処理室-1

5. 納期　　平成２６年５月３０日まで

6. 提出図書　　検査成績書、取扱説明書
（なお、英文の場合、和訳のものを用意すること）　　各１式

7. 引き渡し条件

納入場所において、当所担当者立会いのもとで完成検査を実施し、その合格と提出図書の完納を以って引き渡とする。

8. 無償保証期間　　納入後１年間

9. 納入機器一覧

（１）マイクロ波高温灰化装置

〈構成内訳〉

（１-１）マイクロ波高温灰化装置　本体一式

（1-2）マッフルドア予備　一式

10. 各機器の仕様

マイクロ波高温灰化装置は以下の仕様を満たすこと。

・本体寸法は、61（W）x　57（D）x　61（H）cm 以内に収まること。
・本体重量は 80kg 相当で、搭載出力 1200W 以上であること。
・効率良く燃焼ガスを排気するシステムを備えていること。
・装置シャーシはステンレススチール製で、ポリマーコーティングによる耐酸処理を有していること。
・マッフル炉内には熱電対温度センサーを有しており、かつ温度をリアルタイムで表示・管理および制御が出来る機能を有していること。
・マイクロ波の出力方式は定格出力制御でないこと。
・マッフル炉の寸法は 25（W）x　18（D）x　10（H）cm 以上とし、 25JIS　磁性るつぼ B 型 50ml が８個以上または、外径 100mm 高さ 70mm るつぼが 2 個以上同時処理ができること。
・マイクロ波をキャビティ内へ均一照射させる為の機能を有していること。
・マッフル炉は 4L 以上の容量を有していること。
・予備用マッフルドアが付属すること。
・マイクロ波灰化中にプログラムの変更が可能な機能を有していること。
・制御部は別体式で、ディスプレイを有し、データ保存用の USB メモリが付属していること。
・装置ドアは縦開きとなっていて、かつ作業台として使用できること。
・3 相 200V で使用できること。

11.　保守体制及び運用支援体制

・　国内において技術的相談に速やかに応じることができる体制が整備されていること。
・　障害が発生した場合は、復旧のための通報を受けてから年間を通じて 2 営業日以内に対応する保守体制が確立していること。
・　通常の使用で発生した故障の修理および保守点検を実施できる体制を整えていること。
・　本件に保守契約は含まれていない。

12. その他

・　据え付け、調整、ソフトウェアのインストールを含むこと。
・　製品が正常に動作するように調整し、取扱説明を行うこと。

- 本装置が正常に作動するための付属品等を含め納品すること。
- 本装置および付属品の搬入、配線、据え付け、調整、既存設備との接続に要するすべての費用は、本調達に含まれるものとする。
- 本装置および付属品の導入にあたり、3 相 200V 電源を用意しているが、新規に電源設備および設備改造が必要な場合は本調達に含むものとする。
- 本装置および付属品の搬入、据え付け、調整配線等の実施については、供給者がすべて実施し、正常に機能・稼働することを確認すること。
- 物品の搬入、配線、据え付け、調整、既存設備との接続の日時・方法については、本研究所担当者との協議の上、その指示に従うこと。
- 物品の搬入方法については、本所の担当者と協議の上、その指示に従うこと。
- 物品の搬入、据付にあたっては必要な養生を実施し、本所の建物および設備を破汚損しないこと。また、破汚損した場合は、供給者側の負担で原状に復するものとする。
- 本仕様書に明記されていない事項については必要に応じて協議の上決定するものとする。

所属部課名　　福島復興支援本部
環境動態・影響プロジェクト

使用者名　　青野　辰雄

以上